

日本薬学会 第143年会 (2023年)
趣意書

【広告・バナー広告】

公益社団法人日本薬学会

日本薬学会 第143年会組織委員会

組織委員長 南 雅文

(北海道大学 大学院薬学研究院)

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から公益社団法人日本薬学会の事業に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本薬学会第143年会を、2023年3月25日(土)から28日(火)までの4日間、札幌市にて開催いたします。

日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する最大規模の学術集会で、大学で教育・研究に従事する者、企業で医薬品の研究・開発に携わる者、病院や薬局で医薬品の適正使用を推進する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保に努める者、さらに、将来の薬学および関連領域を担う大学院生・学部生など、7,000名を越える参加者が見込まれます。

薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問からなる総合科学です。多様な学術領域の研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論することで、革新的な医薬品・治療法の創出につながる研究発展に資する年会としたいという強い思いを込めて、第143年会のテーマを「ファーマサイエンス: つながる・つきぬける - PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」としました。また、「つながる・つきぬける」という言葉には、コロナ禍により諸活動が制限されることで蔓延する閉塞感を突き破り、直接的な人と人とのつながりを取り戻し、研究を活性化させたいとの思いも込めています。

年会の運営につきましては可能な限り経費節減に努めて参りますが、参加費のみで充実した年会を開催できない状況にあり、諸企業および諸団体からのご援助を得ることで運営をしております。本年会の趣旨にご賛同いただき、日本における薬学のより一層の発展のためご支援賜りたく、格別のご配慮をお願い申し上げます。

謹白

公益社団法人 日本薬学会
第143年会組織委員会
組織委員長 南 雅文



日本薬学会 第143年会の概要

1. 会議名称とテーマ

1) 会議名称

和文名：日本薬学会 第143年会

英文名：The 143rd Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

2) 学会のテーマ

「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける -PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」

2. 主催および責任者名

公益社団法人 日本薬学会

会 頭：佐々木 茂貴

日本薬学会第143年会組織委員会

組織委員長：南 雅文（北海道大学大学院薬学研究院・教授）

〒060-0812 札幌市北区北12条西6丁目 TEL/FAX: 011-706-3233

3. 会 期

2023年3月25日(土) ～ 28日(火)

4. 会 場

北海道大学(札幌キャンパス)

5. 開催目的

公益社団法人日本薬学会は「くすり」に関する研究者や技術者が学術上の情報交換を行い、学術文化の発展に寄与することを目的として1881年に設立された学術団体です。薬学部・薬科大学教員、製薬企業関係者、病院・薬局関係者がその会員の多くを占め、新しい医薬品の研究・開発・製造と安全性確認、臨床での適正使用の推進など、薬を使って様々な病気を克服することを目指した1万5千人を超える会員への情報源として機能しています。

日本薬学会第143年会は2023年3月25～28日の4日間、札幌市で開催いたします。薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問からなる総合科学であり、それら多様な学術領域の研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論することで、革新的な医薬品・治療法の創出につながる研究発展に資する年会としたいという強い思いを込めて、第143年会のテーマを「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける -PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」としました。

第143年会では、例年と同様の特別講演、受賞講演、シンポジウム、一般学術発表(口頭・ポスター)等に加え、領域融合的な取り組みを推進するために、組織委員会がテーマを設定し、特別講演とシンポジウムが連動する『領域融合「つながる・つきぬける」セッション』会場を設けることを計画しています。関連するポスター発表を同一会場にまとめることで、一般学術発表も巻き込んで、本年会のテーマである「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける」の実現に向けた取り組みを推し進めます。さらに、市民を対象とした公開講演会を通じて地域住民に対して医薬品はもとより保健衛生思想の啓蒙と薬学への理解を深める努力をします。

6. 開催計画の概要

1) 日程表

| 年 月 日 | 午 前 | 午 後 |
|-----------------------|--|--|
| 2023 年 3 月 25 日(土) | 理事会 | 代議員総会・授賞式・市民公開講座 |
| 3 月 26 日(日) | 会頭講演・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示 | ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示 |
| | 領域融合「つながる・つきぬける」セッション | |
| 3 月 27 日(月) | 特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示 | ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示 |
| | 領域融合「つながる・つきぬける」セッション | |
| 3 月 28 日(火) | 特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示 | ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示 |
| | 領域融合「つながる・つきぬける」セッション | |

2) 参加予定者数 7,000 名(うち国外参加者数 約 100 名)

3) 国外参加者の国名:米国、英国、ドイツ、スイス、中国、韓国

4) 使用言語 日本語、英語(一部のシンポジウムおよび特別講演)

7. 広告募集等による支援を必要とする理由

日本薬学会第 143 年会を、2023 年 3 月 25 日(土)から 28 日(火)までの 4 日間、札幌市にて開催いたします。日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する最大規模の学術集会で、大学で教育・研究に従事する者、企業で医薬品の研究・開発に携わる者、病院や薬局で医薬品の適正使用を推進する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保に努める者、さらに、将来の薬学および関連領域を担う大学院生・学部生など、7000 名を越える参加者が見込まれます。薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問からなる総合科学です。多様な学術領域の研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論することで、革新的な医薬品・治療法の創出につながる研究発展に資する年会としたいという強い思いを込めて、第 143 年会のテーマを「ファーマサイエンス:つながる・つきぬける - PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」としました。また、「つながる・つきぬける」という言葉には、コロナ禍により諸活動が制限されることで蔓延する閉塞感を突き破り、直接的な人と人とのつながりを取り戻し、研究を活性化させたいとの思いも込めています。

年会の運営につきましては可能な限り経費節減に努めて参りますが、参加費のみで充実した年会を開催できない状況にあり、諸企業および諸団体からのご援助を得ることで運営をしております。

つきましては、プログラム集(冊子体)に掲載いたします広告枠 23 枠(1,685,000 円)ならびに学会会場で投影するスクリーン広告、学会ホームページに掲載のバナー広告を募集いたします。

本年会の趣旨にご賛同いただき、日本における薬学のより一層の発展のためご支援賜りたく、格別のご配慮をお願い申し上げます。

8. 広告募集内容

1) 掲載媒体: プログラム集(冊子)

配布対象: 日本薬学会の全会員、および、第143年会の参加者

発行部数: 約16,000部

プログラム作成・印刷費: 3,410,000円(税抜き)

| スペース | 掲載料金(税込) | 募集枠 |
|-----------------|----------|-----|
| 表紙2 カラー 1頁 | 135,000円 | 1 |
| 表紙3 カラー 1頁 | 100,000円 | 1 |
| 表紙4 カラー 1頁 | 150,000円 | 1 |
| 後付1色(モノクロ) 1頁 | 80,000円 | 10 |
| 後付1色(モノクロ) 1/2頁 | 50,000円 | 10 |

※ 表紙2(おもて表紙の裏側)、表紙3(うら表紙の裏側)、表紙4(うら表紙)

2) スクリーン広告

講演会会場の幕間にローテーションで投影するスクリーン広告を募集します。・投影時間 : 1枠: 30秒を1日2回、3日間、8会場以上で投影

- ・ 募集数 : 20枠
- ・ 掲載費 : 50,000円(税込)/枠
- ・ 入稿データ: PowerPoint形式

3) バナー広告

第143年会のホームページのバナー広告を募集します。・掲載場所 : 日本薬学会第143年会 ホームページ

- ・ 掲載開始日 : 2022年4月1日以降(申込受付次第、順次)
※ 第143年会終了後もアーカイブとして5年間は継続公開
- ・ 広告方法 : バナー画面の表示および指定URLへのリンク
- ・ ファイルサイズ: 最大3MBまで(極力小さいファイルを使用してください)
- ・ ファイル形式 : PNG、JPEG、GIFのいずれか
- ・ 表示サイズ : 幅160px × 高さ110px程度
(幅160px以上の画像は160pxに縮小されて表示されます。幅が縮小された場合には、高さも同倍率で縮小されます)
- ・ 掲載料金 : 220,000円(税込)/件

4) 申込方法

添付の申込書にご記入の上、FAX(011-706-3233)またはE-mail(pharm143@pharm.hokudai.ac.jp)にて事務局にご送信ください。

広告申込〆切: 2022年12月9日(金)

版下送付〆切: 2022年12月23日(金)

9. 組織委員会名簿

| | | | |
|-----------|-------|---------------|----------------|
| 組織委員長 | 南 雅文 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長 | 小林道也 | 北海道医療大学薬学部 | 教授・薬学部長 |
| 副委員長 | 戸田貴大 | 北海道科学大学薬学部 | 教授・薬学部長 |
| 顧問(化学系) | 周東 智 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 顧問(生物系) | 松田 正 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 顧問(医療系) | 原島秀吉 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 顧問(臨床系) | 竹内伸仁 | 北海道薬剤師会 | 会長 |
| プログラム委員長 | 佐藤美洋 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長(物理系) | 前仲勝実 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長(生物系) | 中川真一 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長(医療系) | 小川美香子 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 総務委員長 | 市川 聡 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長 | 山田勇磨 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 准教授 |
| 財務委員長 | 松永茂樹 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長 | 小林正紀 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 渉外委員長 | 菅原 満 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授・北海道大学病院薬剤部長 |
| 副委員長 | 大西俊介 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 会場委員長 | 木原章雄 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授・薬学研究院長・薬学部長 |
| 副委員長 | 佐々貴之 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 准教授 |
| 広報委員長 | 脇本敏幸 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 教授 |
| 副委員長 | 渡邊瑞貴 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 准教授 |

10. 事務局(申込および問合わせ先):

日本薬学会 第143年会組織委員会 事務局

総務委員長 市川 聡

北海道大学大学院薬学研究院

〒060-0812 札幌市北区北12条西6丁目

Tel: 011-706-3233(事務局)

E-mail: pharm143@pharm.hokudai.ac.jp (事務局)

11. 収支予算概要

収入概算 (単位:円)

| 項目 | 金額 | 小計 |
|-----------------------------------|------------|--------------------|
| 参加登録料 | | 63,450,000 |
| 一般会員:予約 @10,000 × 3,650 | 36,500,000 | |
| 学生会員:予約 @4,000 × 1,750 | 7,000,000 | |
| 非会員:予約 @14,000 × 600 | 8,400,000 | |
| 一般会員:当日 @12,000 × 400 | 4,800,000 | |
| 学生会員:当日 @5,000 × 150 | 750,000 | |
| 非会員:当日 @15,000 × 300 | 4,500,000 | |
| 非会員 (2 day pass):当日 @10,000 × 150 | 1,500,000 | |
| 展示・広告 | | 23,600,000 |
| 展示(日本薬科機器協会協賛金) | 12,000,000 | |
| ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー | 9,600,000 | |
| 広告料 | 2,000,000 | |
| 助成・協賛・寄附 | | 18,500,000 |
| 財団助成金・日本製薬団体連合会・地元企業等 | 12,500,000 | |
| 自治体補助金 | 6,000,000 | |
| 収入総額 | | 105,550,000 |

支出概算 (単位:円)

| 項目 | 金額 | 小計 |
|--|------------|--------------------|
| 年会準備費 | | 33,050,000 |
| 会議費 | 850,000 | |
| 事務局運営費 | 12,200,000 | |
| 演題登録・システム運用 (システム構築と運用、プログラム印刷・発送、参加登録) | 20,000,000 | |
| 年会運営費 | | 71,500,000 |
| 会場費 | 21,500,000 | |
| 懇親会開催費 | 7,500,000 | |
| 会場設営・運営 | 21,000,000 | |
| 会場内シャトルバスの運行 | 2,000,000 | |
| 講師招聘費 | 9,000,000 | |
| 運営人件費 | 10,000,000 | |
| 雑費 | 500,000 | |
| 事後経費 | | 1,000,000 |
| 事務局運営費 | 1,000,000 | |
| 支出総額 | | 105,550,000 |

日本薬学会第143年会
広告掲載申込書

申込先: 日本薬学会第143年会事務局

FAX: 011-706-3233 / E-mail: pharm143@pharm.hokudai.ac.jp

貴学会の趣旨に賛同し、広告を下記の通り申込みます。

年 月 日

| | | |
|--------------|------|-----|
| 申込企業名 | ふりがな | |
| | | |
| 所在地 〒 - | | |
| ご担当者名 | ふりがな | 部署名 |
| | | |
| E-mail アドレス: | | |
| TEL | FAX | |

※該当箇所□に印を付けてください

- | | | |
|-------------------------------------|----------|----------------|
| <input type="checkbox"/> 表 2 (表紙裏) | 1 頁(カラー) | 135,000 円 (税込) |
| <input type="checkbox"/> 表 3 (裏表紙裏) | 1 頁(カラー) | 100,000 円 (税込) |
| <input type="checkbox"/> 表 4 (裏表紙) | 1 頁(カラー) | 150,000 円 (税込) |
| <input type="checkbox"/> 後付 1 頁 | (モノクロ) | 80,000 円 (税込) |
| <input type="checkbox"/> 後付 1/2 頁 | (モノクロ) | 50,000 円 (税込) |
| <input type="checkbox"/> スクリーン広告 | | 50,000 円 (税込) |
| <input type="checkbox"/> バナー広告 | | 220,000 円 (税込) |

料金: _____ 円

※寸法 1 頁 横 180 mm × 縦 260 mm 程度
1/2 頁 横 180 mm × 縦 125 mm 程度
(場合によって、サイズを変更させていただく場合がございます。)

※広告原稿送り先につきましては、後日ご案内します。

広告申込〆切: 2022 年 12 月 9 日 (金)
版下送付〆切: 2022 年 12 月 23 日 (金)